

15	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15101007	機能ゲノム学的戦略による分子多様性の開拓	海老塚 豊 (東京大学・大学院薬学系研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>本研究はポリケタイド、トリテルペンの基本骨格構築にかかわる生合成酵素を取り上げ、精密な構造および機能解析を基盤とした分子多様性の創出を目的としている。5年計画の2年間については順調に研究成果が上がっていると判断する。しかし、目標が大きいだけに一層の成果を期待する。特に発見した重要な新規機能性酵素の詳細な構造解析 (X線結晶構造解析) が重要であり、これに基づく活性部位制御、基質、生成物、反応特異性を支配する基本原理の確立を目指す以上は、早急に解決すべき問題が残されている。これによって、最終目的である機能性人工酵素のデザインの一般化すなわち分子多様化ができるのであって、是非達成してほしい。</p>				
16	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15101008	蛋白質生合成系の有機化学的拡張と合成生命体の創成	宍戸 昌彦 (岡山大学・大学院自然科学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>本研究はタンパク質合成系を構成する分子群を自由自在に操り、人工機能を持つタンパク質を作製することを目指し、この系を細胞内に組み込むことにより人工機能合成生命体の構築を目的としている。</p> <p>5年計画の2年間については順調に研究が進展していると判断する。しかし、本研究代表者の4塩基コドン法に関する成果を大きくしのぐ研究結果を期待する観点からは物足りなさを感じず。残りの期間で特に「合成生命体」作製の明確化を望む。</p>				